

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・人間関係	演習	1	川谷 和子
【授業のテーマ及び到達目標】			
<p>(1) 乳幼児の人との関わりの発達特性を理解し、領域「人間関係」について理解を深めることができる。</p> <p>(2) 子どもを取り巻く現代社会の人間関係に関心を持ち、その問題点や改善について考えることができる。</p> <p>(3) 人とかかわる力を育むための保育内容および援助について考えることができる。</p>			
【授業の概要】			
<p>「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に示された領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、乳幼児期の人間関係を育むための保育実践について検討、理解する。また、保育の事例をもとに、子どもの人間関係がどのように発達していくのかを様々な観点から考察する。</p>			
【全体の授業計画・内容】			
1. 領域「人間関係について」	・人との関わりの基礎となる発達課題		
2. 子どもの育ちと大人の関わり	・幼児教育に求められる人間関係		
3. 子どもを取り巻く現代的課題	・生活環境、家族形態の変化		
4. 子どもの生活と人間関係	・子どもは他者をどのように理解していくか		
5. 遊びと人間関係	・ものや人との関わり。遊びの広がり人間関係		
6. 集団生活と人間関係	・クラス集団の中で育つ人間関係		
7. 就学までに育てたい人間関係	・幼児期の終わりまでに育てほしい姿		
8. 0歳児～2歳児の人間関係のねらいと内容	・身近な人と気持ちが通じ合う		
9. 0歳児～2歳児の人間関係を育む保育実践	・基本的信頼関係と自我の発達、自己主張を支える		
10. 3歳児～5歳児の人間関係のねらいと内容	・自立的生活を経て協働する体験へと育む		
11. 3歳児～5歳児の人間関係を育む保育実践	・自分の思いを伝える力、折り合いをつける力を育む		
12. 家庭との連携で育む人間関係	・保護者との協働で子どもの育ちを支える		
13. 特別な支援が必要な子どもの保育	・子どもの行動の意味の理解と関わりを見る視点		
14. 指導計画作成の基本	・子どもの活動の多様性と環境構成		
15. 試験とまとめ	・生きる力を育む人間関係		
【準備学習の内容】			
予習のあり方: 授業計画に沿った教科書の内容および教員が指示した箇所を読んでおく。			
学習のあり方: 授業で学んだことをノートにまとめ整理していく。			
復習のあり方: 授業内容を復習し、学んだことを自分の言葉で説明できるようにしていく。			
【成績評価】			
試験(60%) レポート課題(20%) 課題の理解と授業への取り組み姿勢(20%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
レポートについて、別の用紙に解説、コメントを記入して配布する。			
【テキスト】			
コンパクト版 保育内容シリーズ2 人間関係 編著: 高橋弥生・福田真奈 一藝社			
【参考文献】			
幼稚園教育要領解説書・保育所保育指針解説書 フレーベル社			